

## 2022年公認会計士試験合格者向け特別号

### CONTENTS

- 一般財団法人 会計教育研修機構 (JFAEL) 情報 ————— 2
- JFAEL 組織 ————— 3
- 《実務補習特集》 ————— 4

#### 試験合格者 / 実務補習生の皆さんへのお願い

鶴田 光夫 日本公認会計士協会 副会長

#### 実務補習所に入所される皆さんへ

日下部 恵美 日本公認会計士協会 常務理事

#### 実務補習所に入所される皆さんへ

安井 康二 日本公認会計士協会 常務理事

#### 東京実務補習所に入所される皆さんへ

滝沢 勝己 東京実務補習所 運営委員会委員長

#### 東海実務補習所に入所される皆さんへ

後藤 泰彦 東海実務補習所 運営委員会委員長

#### 近畿実務補習所に入所される皆さんへ

安田 智則 近畿実務補習所 運営委員会委員長

#### 九州実務補習所に入所される皆さんへ

関根 康一 九州実務補習所 運営委員会委員長

# 一般財団法人 会計教育研修機構 (JFAEL) 情報

## JFAELについて

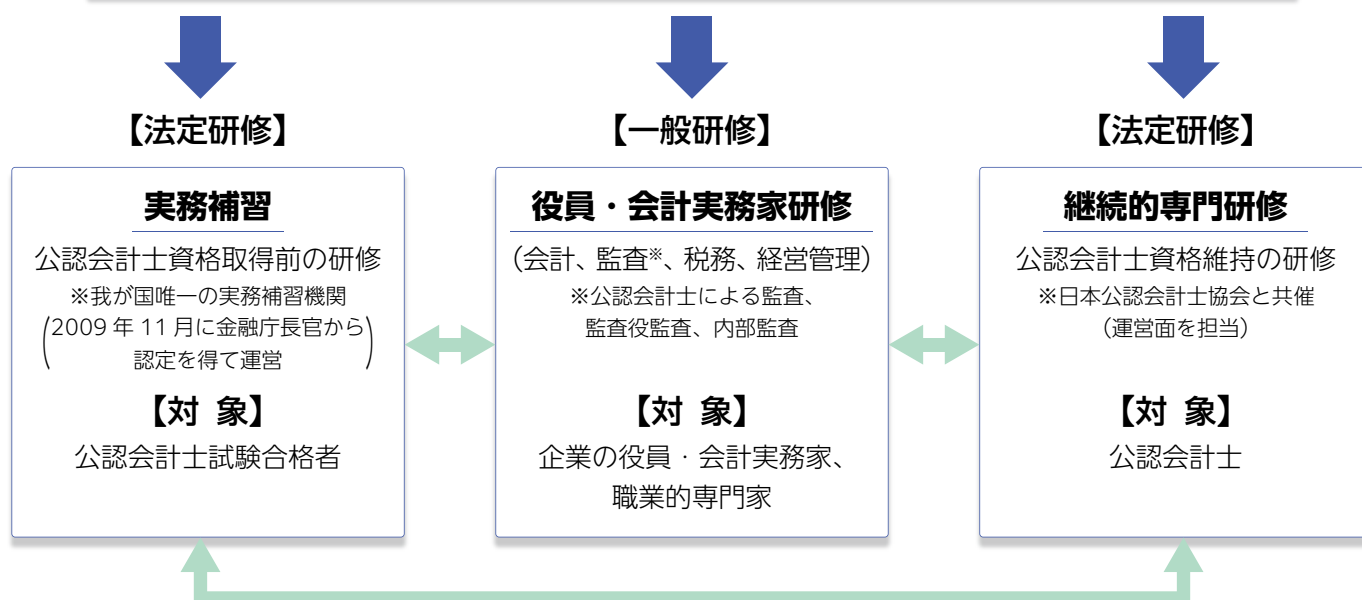
当法人は、日本公認会計士協会が中心となり、経済界、学界、関係各界の協力を得て、2009年7月に設立された会計に係る教育財団です。

2018年3月に定款改正を行い、広く会計、監査及び税務に関心を有する者のニーズを踏まえた教育研修プログラムを提供し、専門知識や専門的技術の向上を実現し、我が国の会計人材の育成、会計リテラシーの向上に貢献することを目的としています。事業としては、会計実務に携わる者や取締役、監査役等の役員のための教育研修を行う「役員・会計実務家研修」と、公認会計士試験合格者のための法定研修を行う「実務補習」、公認会計士のための法定研修を行う「継続的専門研修」という3つの事業を行っています。

公認会計士事業については、日本公認会計士協会との連携をさらに強化し、幅広い専門知識に加えて、論理的思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力等を身に付けたプロフェッショナルの育成に取り組めます。

### 【目的】

会計、監査及び税務に関心を有する者の専門知識、専門的技術の向上を実現し、我が国の会計人材の育成、会計リテラシーの向上に貢献

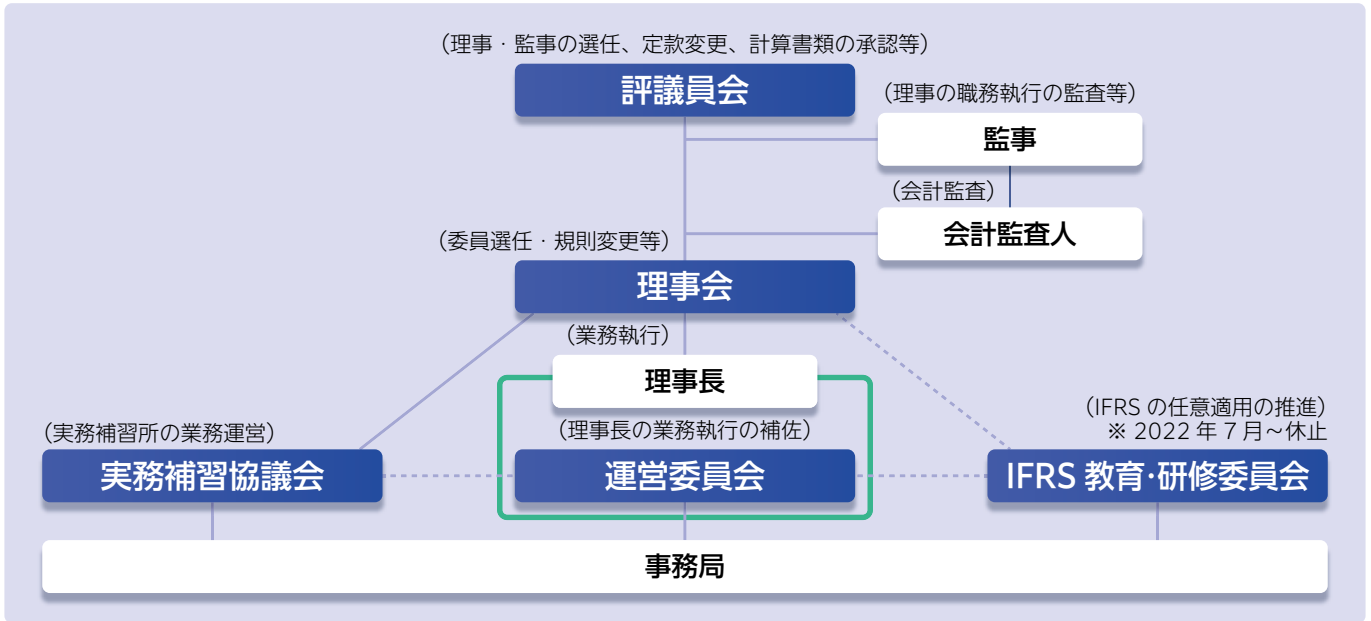


## 事業

	実務補習	役員・会計実務家研修	継続的専門研修 (CPE)
開催目的	公認会計士試験合格者の資質向上	会計、監査、税務、経営管理の知識向上	公認会計士としての資質の維持向上
開催場所	東京(含む8支所)、東海、 近畿、九州	東京、オンライン配信	全国の約30カ所の会場

# JFAEL組織

## 組織



## 評議員・理事・監事

(2022年11月1日現在)

### 評議員会

議長	森 公高	日本公認会計士協会 相談役
評議員	大塚 宗春	早稲田大学 名誉教授
	清田 瞭	株式会社日本取引所グループ 取締役兼代表執行役グループCEO
	島崎 憲明	IFRS財団アジア・オセアニアオフィス シニアアドバイザー
	徳賀 芳弘	京都先端科学大学 教授、京都大学 名誉教授
	林田 英治	公益財団法人財務会計基準機構 理事長
	坂東真理子	学校法人昭和女子大学 理事長

### 理事会

理事長	手塚 正彦	日本公認会計士協会 前会長
専務理事	福岡 広信	
理事	井野 貴章	PwCあらた有限責任監査法人 代表執行役
	井上 隆	一般社団法人日本経済団体連合会 専務理事
	岩間 芳仁	公益財団法人財務会計基準機構 代表理事常務
	大久保孝一	有限責任監査法人トーマツ 包括代表
	梶川 融	太陽有限責任監査法人 代表社員会長
	片倉 正美	EY新日本有限責任監査法人 理事長
	小池 広靖	公益社団法人日本証券アナリスト協会 会長
	後藤紳太郎	日本公認会計士協会 副会長、近畿会会長
	古藤 智弘	三優監査法人 理事長パートナー
	小西 範幸	会計大学院協会 相談役
	佐々木啓吾	住友化学株式会社 常務執行役員
	佐藤 久史	日本公認会計士協会 専務理事
	佐山 正則	東陽監査法人 理事長
	高田 篤	仰星監査法人 理事長
	辻 松雄	一般社団法人全国銀行協会 副会長兼専務理事
	土屋 一喜	一般社団法人日本内部監査協会 専務理事
	鶴田 光夫	日本公認会計士協会 副会長
	藤沼 亜起	一般社団法人日本公認不正検査士協会 理事長
	増田 宏一	日本公認会計士協会 相談役

松野 正人	公益社団法人日本監査役協会 会長
茂木 哲也	日本公認会計士協会 会長
森 俊哉	有限責任あずさ監査法人 理事長
柳澤 義一	新創監査法人 統括代表社員
若山 聡満	PwC京都監査法人 シニアパートナー

### 監事

青木 茂男	茨城キリスト教大学 名誉教授
山浦 久司	明治大学 名誉教授

### 運営委員会

委員長	佐藤 久史	日本公認会計士協会 専務理事
委員	小畑 良晴	一般社団法人日本経済団体連合会 経済基盤本部長
	菊池 教之	株式会社東京証券取引所 上場部長
	杉本 徳栄	関西学院大学大学院 教授
	鶴田 光夫	日本公認会計士協会 副会長
	福岡 広信	弊法人専務理事

### 実務補習協議会

手塚 正彦	弊法人理事長
茂木 哲也	日本公認会計士協会 会長
日下部恵美	実務補習責任者
安井 康二	日本公認会計士協会 常務理事
鶴田 光夫	東京実務補習所 所長
稲垣 靖	東海実務補習所 所長
高田 篤	近畿実務補習所 所長
宮本 義三	九州実務補習所 所長
滝沢 勝己	東京実務補習所運営委員会 委員長
後藤 泰彦	東海実務補習所運営委員会 委員長
安田 智則	近畿実務補習所運営委員会 委員長
関根 康一	九州実務補習所運営委員会 委員長
福岡 広信	弊法人専務理事



# 試験合格者/実務補習生の 皆さんへのお願い

日本公認会計士協会 副会長(実務補習・修了考査担当)  
一般財団法人会計教育研修機構 理事  
東京実務補習所 所長

鶴田 光夫



公認会計士試験の合格、そして、各実務補習所の入所、誠におめでとうございます。長く続くコロナ禍の中、厳しい受験生活を無事に試験合格という形で終え、皆さんは今、新たな世界に向かって期待に胸を膨らませていることと思います。公認会計士の明るい未来については、会長講話など色々な機会もありますので、試験合格者/実務補習生の皆さんには、2点のお願いをしたいと思います。

まず1点目のお願いは、公認会計士になる前に、すなわち実務補習を修了する前に、実務補習を通じて、公認会計士となるための「知識」を積極的に維持・向上させていって欲しいということです。

公認会計士試験に合格した皆さんには、公認会計士になるために必要な一定の「知識」が備わっていることは証明されましたが、これで公認会計士としての「知識」が十分ということでは決してありません。まずは、所属する組織において主体的かつ積極的に実務経験を積まれた上で、さらに実務補習を最大限活用することで、自らの持つ「知識」の範囲を広げるとともに深めていってください。自ら学び続ける気持ちを持って、ご自身の能力開発をしていってほしいと思います。なお、この変化の激しい時代においては、自ら学び続ける気持ちを持ってご自身の能力開発をしていく姿勢は、公認会計士になった後も、当然に継続していく必要があるかと思っています。

それから、2点目のお願いは、実務補習を通じて、各実務補習所の同期の仲間とともに、公認会計士として、プロフェッショナルとしての「意識」や「覚悟」について考えて、学んで欲しいということです。

プロフェッショナルの定義は様々あるかとは思いますが、その昔、読んだ本には、「「プロフェッショナル」とは、高度な知識と技術によってクライアントの依頼

を適えるインディペンデントな職業だ。業態はさまざまであっても、求められるのはたゆまぬ研鑽によって培われる技量であり、最高の結果を追求するこだわりである。」(波頭亮「プロフェッショナル原論」)とありました。また、この本の中では「正当なプロフェッショナルであるためには、世のため人のため、即ち公益に寄与することを唯一の動機として働かなければならないのである。」という記載もあり、「ノブレス・オブリージュ」や「インテグリティ」という言葉にも通じるかと思っています。

公認会計士試験や修了考査では、公認会計士として、高度な専門知識があることは確認できますが、プロフェッショナルとして、ふさわしい人間かどうか、その「意識」や「覚悟」を確認することは難しいです。ここ実務補習所を、単に「知識」を学ぶ場ではなく、プロフェッショナルとしての「意識」や「覚悟」について考えて、学び、それを発揮する場として活用してください。プロフェッショナルとしての意識の発揮とは何か、実務補習所の講義やゼミナール・ディスカッションなどを通じて、是非、考えていって欲しいと思います。

皆さんは、これから我々の業界の一員として、責任のある意識と行動が求められることとなります。是非、この実務補習所という場で、同期の仲間と共に、「知識」だけでなく、プロフェッショナルとしての「意識」や「覚悟」についても考え学び、一人前の公認会計士になっていただきたいと思います。変化の激しい時代において、この実務補習を通して会計職業専門家としての基礎(専門知識、価値観・倫理・姿勢、スキル)を身に付け、変化即応能力・学び続ける姿勢(自身に必要な知力や能力を見極め、研鑽を続ける資質・能力)をもって、公認会計士として社会に貢献されていくことを心から願っています。

# 実務補習所に 入所される皆さんへ

日本公認会計士協会 常務理事(実務補習・修了考査担当)  
一般財団法人会計教育機構 実務補習責任者

日下部 恵美



公認会計士試験合格、おめでとうございます。

何が起きるか予想もできない環境のなかで努力を続け、会計職業専門家としての門を自らの力で拓いた皆さんに敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。

そして、皆さんは公認会計士となるために実務補習所に入所する今まさに、前に向かって歩き出します。

実務補習のミッション(存在意義)は、皆さんが「会計職業専門家としてふさわしい品位と幅広い識見を備え、専門的知識を実務上で応用できる能力を有する公認会計士」としてキャリアを歩み、グローバル時代の社会に貢献していくために必要な基礎を身につけるための補習教育を提供していくことです。

実務補習の修了までに身につける必要な基礎は、以下のとおりです。

1. 社会に貢献する会計職業専門家としての価値観、倫理及び姿勢
2. 会計職業専門家に必要な専門的知識、実務能力、

応用力とその学び方

3. 会計・税務・監査を一体不可分のものとして捉える能力
4. 会計職業専門家に必要なコミュニケーション能力
5. 公認会計士が活躍し社会に貢献する分野の理解
6. 会計職業専門家に必要なネットワーク力(人的ネットワークを構築し活用する能力)

これらの必要な基礎を身につけるため、プロアクティブに実務を経験し、実務補習を実りある学びの場としてください。また、実務補習所では同期の仲間、熱い思いで皆さんをサポートする運営委員・講師等の先輩会計士との出会いがあります。所属組織の枠を越えたこの出会いは、将来の貴重な財産となるでしょう。

最後に、志をもって会計職業専門家としての基礎を身につけ、公認会計士として社会に貢献されることを心から願っています。

# 実務補習所に 入所される皆さんへ

日本公認会計士協会 常務理事(実務補習・修了考査担当)

安井 康二



皆さん、公認会計士試験合格、おめでとうございます。多くの新しい仲間をお迎えすることができ、大変うれしく思っております。皆さんの試験勉強期間の大半がコロナウイルス感染拡大下であり、不安な環境のなか、自らを鼓舞し合格に向けて勉学に励まれることには、大変なご苦労があったと思います。皆さんの努力が報われたことについて、敬意を表しますとともに、改めて心よりお喜び申し上げます。

今年、日本公認会計士協会は新ブランドとして、新しいタグラインを設定しました。

## 信頼の力を未来へ

**Building trust, empowering our future**

このタグラインの中核概念は、「私たち公認会計士は、高い倫理観と専門的知見をもとに説明責任を究め、世界の人々と共に社会に信頼を作り上げていくことで、安心して活力に満ちた豊かな社会の創造に貢献する

プロフェSSIONALです。」と定義されています。

皆さんは、これから様々な場で公認会計士試験合格者として実務経験を経ていくとともに、実務補習をされていくこととなります。公認会計士は会計・監査の専門家であり、世間からはプロフェSSIONALの一つとして認識されています。したがって、「高い倫理観と専門的知見」をはぐくむために、常に自己研鑽を続けていく必要があります。そのために用意されているのが実務補習所における学習の機会であり、そこはプロフェSSIONAL(の卵)たちのネットワーキングの場でもあります。仕事における実務だけでも大変ですが、公認会計士試験合格はスタート地点に過ぎません。実務補習を受け身で受講していただくだけでなく、主体的に取り組むことを期待します。そして、皆さんはまだ実感があまり持ちにくいかもしれませんが、公認会計士が実際に生み出している「信頼の力」を、皆さんとともに未来に運んでいきたいと願っています。

# 東京実務補習所に 入所される皆さんへ

東京実務補習所 運営委員会委員長

滝沢 勝己



公認会計士試験の合格おめでとうございます。令和4年公認会計士試験は、論文式試験日が新型コロナウイルス感染の拡大時期とも重なり、引き続き、ご家族、試験勉強の仲間や友人などと過ごす時間や方法も限られ、特に体調管理の心配も多かったものと思います。そのような環境下で、しっかりとご自身の目標に向かって努力され、「合格」という成果に結びつけられたことは、実務補習の運営に携わる一員として大変うれしく、また、心強く感じています。

これまで公認会計士試験の合格を目標（ゴール）として、日々、努力してきたと思いますが、ここで皆さん一人ひとりに「次の目標は何ですか」と質問したいと思います。皆さんの中には「修了考査の合格」と頭に浮かんだ方は、是非、修了考査の合格後、その先の公認会計士としてどのような活躍をしたいのかを考えてみてください。きっと、修了考査受験要件を効率的に取得するという気持ちから、どの講義等にも出席して、将来の自分の活躍のために役立てたいと考えるようになると思います。

これから皆さんが受講される実務補習においては、皆さんが「会計職業専門家としてふさわしい品位と幅広い見識を備え、専門的知識を実務上で応用できる能力を有する公認会計士」としてキャリアを歩み、グローバル時代の社会に貢献していくため、数多くの様々なカリキュラムを提供しますので、楽しみにしてください。

また、東京実務補習所では実務補習生へのアンケートを実施して多くの希望や意見などもいただき、できる限りの寄り添った実務補習所の運営のため、様々な取り組みを進めています。特に、東京実務補習所では、当年度は運営委員も増員して、各分野の専門家の講師だけでなく、皆さんの先輩となる100名規模の運営委員が実務補習生20名程度の「班」に2名担当され、専門的な指導だけでなく、将来のキャリア相談などにも幅広く相談に応じてくれます。もし、運営委員に相談することが思い浮かばない時は、是非、「あなたの公認会計士としての目標は何ですか」と聞いてみてください。きっと、色々な話をしてくれ、皆さんの目標作りの参考になると思います。

# 東海実務補習所に 入所される皆さんへ

東海実務補習所 運営委員会委員長

後藤 泰彦



公認会計士試験合格、おめでとうございます。新型コロナウイルス感染拡大という困難な環境では、試験勉強を継続していくに当たって、様々な制限があったことと推察しますが、見事に目標を達成した皆さんの努力に敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。

東海実務補習所は、愛知県を中心に東海圏の皆さんが所属する補習所です。70名程度の補習生の皆さんは5つの班に分かれ、各班を、6-7名の実務補習委員が担当しています。この班制度は、下記のような効果があると考えています。

- ・ 補習生の皆さんが勤務先や出身学校を越えて交流することができる。
- ・ 実務補習委員に、カリキュラムだけでなく、実務や将来キャリアについても相談できる。

過去には、実務補習所を修了しても、集まったり、相談したりする関係が続いている班もあります。

ぜひ、新しい「出会いの場」として実務補習所を活用して頂きたいと考えます。

実務補習所においては、講義、ディスカッション、ゼミナールなど多くのカリキュラムが提供されます。これらを受講することは、特に働きながらの場合、負担かも知れません。しかし、私たちが専門家である以上、学びは一生、続いていきます。実務補習所では、知識はもちろん、考え方の整理、相手への伝え方などのアウトプット、また、先輩方の経験など、多くのことを学ぶことができます。専門家として活躍していくベースを培うとともに、「学びを習慣づける場」としても実務補習所を活用して頂きたいと考えます。

実務補習委員はもちろん、運営スタッフ、また、eラーニング講師や教材作成者まで、多くの方が、皆さん方補習生の成長をサポートしていきます。これから、宜しくお願い致します。



# 近畿実務補習所に 入所される皆さんへ

近畿実務補習所 運営委員会委員長

安田 智則



公認会計士試験合格、誠におめでとうございます。コロナ禍での試験勉強は、仲間や友人などと過ごす時間や方法も限られ、体調管理や精神的な不安等もあったと思います。それらを乗り越え、日々の努力の結果、新たなステージに立たれた今、未来への期待と意気込みで胸を膨らませていることでしょう。皆さんを歴史ある近畿実務補習所の68期生としてお迎えできることを本当に嬉しく思います。

補習所では、実務に即した知識と心構えを習得していただくためのカリキュラムを提供しています。コロナの影響により対面型の講義や宿泊研修が一部制限されていますが、eラーニング講義やオンラインディスカッション等を利用し、補習所での学びが充実したものになるよう引き続き努めて参ります。皆さんには、どの様な状況下でも必ず志は達成されると信じて、補習所での学習に励んでもらいたいと思います。

近畿実務補習所の運営委員長として、皆さんに補習期間を通じて以下のことについて心がけていただきたいと

思っています。

1つ目はプロフェッショナルとしての知識の習得です。皆さんは公認会計士試験に合格はしたものの、プロフェッショナルとして習得すべき知識はまだあります。補習期間でこれらの知識を習得していくことはもちろん、補習所終了後も継続的な研鑽を通じて正確な知識を習得し適切な判断を下せるようになってください。

2つ目は高度な倫理観です。公認会計士として資本市場の信頼を守る番人として、適切な判断をするためにも高度な倫理観が必要です。

3つ目は仲間を大切にすることです。同期や講師の先生方と積極的に意見を交わし、様々な経験を共有してください。また、仲間と補習期間を共にすることで、楽しい補習期間を過ごせると思います。

最後に、3年間で補習所を終了できるよう頑張って、なるべく早く公認会計士になってもらいたいと思います。

補習所での学びが皆さんにとって有意義なものになるように、サポートして参りますので、よろしくお願いします。

# 九州実務補習所に 入所される皆さんへ

九州実務補習所 運営委員会委員長

関根 康一



皆さん、公認会計士試験合格及び実務補習所入所おめでとうございます。

最近では、DX、脱炭素、ダイバーシティ、VUCAといった用語を目にしないう日はないほど、私たちビジネスパーソンにとっても、目まぐるしいグローバルな環境変化への対応力を試される時代になってきています。ビジネスや働き方の変化に伴って新たな知識やスキルを習得する「リスキリング(Reskilling)」が政府の新たな総合経済対策に盛り込まれたこともあり、持続的な学びやスキル習得はこれまで以上に重要なものとなるでしょう。

公認会計士業界においても、この20年間だけでも、会計ビッグバン、J-SOX制度、法定監査の拡大、国際会計基準、監査品質改革、監査のデジタル化等、常に新たな制度の導入や監査手法への対応を求められてきた時代でした。直近ではサステナビリティ情報開示などの重点テーマもあり、公認会計士に期待される業務領域は今後も拡大し、また変化し続けることが予想されます。

これから先の公認会計士業界の中心となって活躍が期待される皆さんは、公認会計士のコア業務である監査及び会計関連の知識の基礎固めをしながらも、常に化する

るビジネス環境に対応できる知識、スキル、マインドを身に付け、変化する期待や役割に対応していかなければなりません。

九州実務補習所の運営もこのような環境変化に対応できる公認会計士を育成すべく、単なる監査及び会計関連の知識習得だけの場になることのないよう変化していきたいと考えています。コロナ禍で中止していたライブ講義も一部を再開し、百戦錬磨の先輩会計士の経験談を聞けるなど双方向のコミュニケーションが可能な機会を増やしていく予定です。また、ゼミナールやディスカッションにおいては課題を検討し、話し合うだけの場とならないように、問題発見・解決力、論理的思考力、ファシリテーションスキル、コミュニケーションスキルなどより実践的なスキル習得を意識した指導も行っていきたいと考えています。もちろん、宿泊研修やビジネスゲームなどは補習生同士の交流の場として楽しい思い出となるようしっかりと準備したいと思います。皆さんの実務補習所での学びが有意義なものとなるようしっかりとサポートしてまいりますので、3年間よろしくお願いたします。



～ 会計教育財団として、我が国の会計人材の育成・会計リテラシーの向上を目指す ～

## JFAELニュースレター 特別号 2022年11月発行

**発行人** 手塚 正彦

**発行** 一般財団法人 会計教育研修機構 (JFAEL)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-7 大手町フィナンシャルシティ サウスタワー5F

TEL : 03-3510-7860 WEB : <https://www.jfael.or.jp/>

